資料２-１

令和８年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要

南相馬市教育委員会

１　実 施 日　　令和８年 ４月２３日（木）

２　調査対象　　市内小学校 第６学年全児童（１１校 ３４０名）
市内中学校 第３学年全生徒（ ６校 ２８４名）

３　調査内容

（１）教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

①　身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②　知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※　上記①と②を一体的に問う。

（２）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

４　調査結果

（１）教科に関する調査

①　小学６年生の国語・算数　平均正答率(%)

	国　語	算　数
全　　国	６０．９	５６．４
福 島 県	５９	５４
南相馬市	**５５**	**５３**

②　中学３年生の国語・数学　平均正答率(%)・英語　IRT スコア

	国　語	数　学	英　語
全　　国	６３．９	５７	４９９
福 島 県	６２	５３	４７２
南相馬市	**５９**	**４８**	**４５８**

※ 平均正答率とは、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率です。
※ 国の公表方針及び提供資料に基づき、県と本市の数値については整数値による公表となります。
※ IRT スコアとは、各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し５００を基準とした得点です。

③　調査結果の概要

小学校の国語・算数は、全国平均正答率を下回りました。

中学校の国語・数学・英語は、全国平均正答率を下回りました。

④　教科に関する調査結果から見える成果と課題

【 成 果 】

（ア） 本年度の小学校・中学校調査において、国語、算数・数学、英語において全国平均正答率を大きく上回る学校や、教科によっては全国平均正答率を上回る学校もありました。

（イ） 小学校調査の国語における「漢字」の短答式の問題では、正答率が全国平均正答率を上回りました。文章中の漢字を正しく書ける力がついています。

（ウ） 中学校調査の数学における全問正解者の割合が県平均より上回りました。

【 課 題 】

（ア） 小・中学校ともに、基本的な問題を取りこぼす傾向にあり、基礎・基本の定着が課題です。設問の意図を的確に捉え、教科の見方・考え方をふまえて問題を解決する力の育成が必要です。

（イ） 小学校算数の「変化と関係」領域の正答率が、全国値と比較して差が大きく、表をもとに考えたり、言葉で説明したりすることに課題が見られます。

（ウ） 中学校数学の正答数の分布を全国値と比較すると、中位から下位にかけての層に厚みが見られました。特に「図形」領域での正答率が低く、問題解決の方法を説明したり、筋道を立てて証明したりすることに課題が見られました。

（エ） 小学校国語の「話すこと・聞くこと」の正答率が低く、根拠を明確にして自分の意見をまとめたり、相手が何を伝えたいか考えたりする問題に課題が見られました。

⑤　今後の取り組み

（ア）小学校低学年段階から、基礎・基本の定着を図り、学習の積み重ねができるようにし、小学校から中学校への学習の積み重ねが継続できるよう、中学校ブロックでの研修会等を行い、連携してまいります。また、南相馬授業スタイルをもとに、まとめ、振り返りの時間の充実を図るとともに、学んだことの定着、及び、家庭との連携により学習習慣の定着に努めます。

（イ）学習支援員や学力向上教員などと連携しながら、下・中位にかけての層への手厚い支援を今後も継続して充実させるとともに、習熟度別の学習活動等を取り入れるなど個々に合わせてそれぞれの力を伸ばせるように指導してまいります。

（ウ）各種調査結果をもとに個々のつまずきを分析して、個別最適な学びにつながる支援にあたるとともに、子どもたちが主体性を持ち、対話を通して協働的に考えを深め、学んだことをつかう授業を行います。

（２）児童・生徒質問紙調査

【選択肢】　※ 成果は主に AB 合わせて約９０％以上の回答
※ 課題は主に AB 合わせて全国平均よりマイナスポイントの回答
Ａ：当てはまる
Ｂ：どちらかといえば当てはまる
Ｃ：どちらかといえば当てはまらない
Ｄ：当てはまらない

①　生活習慣・日常生活等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 朝食を毎日食べていますか。【91.9%】 ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。【91.0%】	○ 朝食を毎日食べていますか。【89.4%】 ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。【94.0%】
課題	● 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。【ほぼ毎日・週に 1･2 回 29.8% 全国比－5.7】 ● 学校の勉強について、あなたの親や家族は､どれくらいあなたと話しますか。【ほぼ毎日・週に 1･2 回 71.3% 全国比－3.7】 ● 土日など学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間､勉強しますか｡(塾での学習を含む)【２時間以上 4.4% 全国比－5.2】	● 学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。【ほぼ毎日・週に 1･2 回 27.4% 全国比－9.0】 ● 学校の勉強について、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。【ほぼ毎日・週に 1･2 回 74.0% 全国比－6.0】 ● 土日など学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間､勉強しますか｡(塾での学習を含む)【２時間以上 10.6% 全国比－2.5】

②　情意面・人間関係等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【95.9%】 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【95.9%】 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。【94.5%】 ○ 友達関係に満足していますか。【89.6%】 ○ 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。【93.6%】	○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。【93.3%】 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【94.7%】 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。【95.7%】 ○ 友達関係に満足していますか。【89.4%】 ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。【90.2%】
課題	● 自分には、よいところがあると思いますか。【78.0% 全国比－6.0】	● 自分には、よいところがあると思いますか。【91.6% 全国比－0.7】

③　学習面・授業等に関する質問紙調査

	児童質問紙【小学校】	生徒質問紙【中学校】
成果	○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【92.5%】 ○ 先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 【91.0%】 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 【90.7%】 ○ 国語の授業の内容はよく分かりますか。 【92.9%】 ○ 国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【91.1%】 ○ 算数の授業の内容はよく分かりますか。 【90.5%】 ○ 算数の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【93.6%】	○ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 【91.6%】 ○ 先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。 【89.8%】 ○ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 【94.7%】 ○ 国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【89.7%】 ○ 数学の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【89.1%】 ○ 英語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 【89.1%】 ○ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。 【91.6%】
課題	●あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼン(発表スライド)を作成することができると思いますか。 【75.6% 全国比－5.1】	●あなたは、自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼン(発表スライド)を作成することができると思いますか。 【74.2% 全国比－5.8】

④　今後の取り組み

（ア）　毎日、同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時間に起きて、朝食を食べる。質問調査から規則正しい生活習慣が身についている児童・生徒の割合が高いです。基本的な生活習慣が身についている児童・生徒は各教科において正答率が高い傾向にありますので、今後も早寝・早起き・朝ご飯の指導を継続してまいります。

（イ）児童・生徒ともに、情意面・人間関係等の質問において「人が困っている時に進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」「普段の生活において、幸せな気持ちになる」と、心の育成が成されていることが分かる調査結果でした。今後も心の育成を図るために、体験活動や道徳の教育の充実を目指してまいります。

（ウ）土日等の学校が休みの日の児童生徒の学習時間が短いという調査結果がでております。家庭での学習の質と量を高めることが学力向上に大切であると考えていますので、子どもたちが、主体的（必要感のある課題・ICT 機器の活用等）に家庭学習ができるよう工夫してまいります。

（エ）教科に関する調査結果では、授業内で分かるまで教えてもらっているなどの意識調査と教科の正答率の結果が相反することから、学んだことを定着できるよう、適用問題等を行う等、振り返りの時間を確保してまいります。

（オ）「自分にはよいところがある」の質問において児童・生徒ともに全国比でマイナスでした。豊かな体験を通して、自己肯定感・自己有用感を高めることができるようにしてまいります。

令和８年度 南相馬市学力向上への取り組み

１　教員一人一人の授業力の向上・授業改善

令和８年度における、全国学力学習状況調査の分析から、基礎基本の定着が図られるよう、小中の連携を図り、学習の積み重ねができるようにしてまいります。また、下位・中位層へ手厚い支援ができるよう学習支援員や学力向上教員と連携しながら個々の力が伸ばせるよう指導して参ります

教員の授業力向上に関しては「南相馬授業スタイル」を作成し、各校の研修体制や教員の授業改善に取り組んでいます。令和８年度は「学んだことをつかう授業」を重点テーマに掲げ、南相馬市内全教職員へパンフレットを配布し、主体的に知っていることや学んだこと、身につけた技や力を活用する授業づくりに取り組んでいます。

２　校外・校内研修の充実

（１）公開モデル授業研究会

・ 学校教育指導委員による授業改善プランに基づいたモデル授業の公開・事後研究協議（年３回）

（２）学校訪問（令和８年度　６校実施予定）

・ 授業参観、授業改善に向けた事後研究協議会（全教員が対象）

（３）教育先進地視察研修

・ 秋田県横手市立小中学校への視察訪問研修　参加者は、各校にて伝達講習を行います。また、次年度の授業改善プランの参考にします。

（４）市支援センターにおける教職員研修会

・ 授業づくり研修会や特別支援の充実など様々な研修会を教職員のスキルアップを目指して取り組んでいます。

（５）全国学力学習状況調査において正答率が高い状況を分析し、各校と情報を共有し、子どもたちへの指導に生かしていきます。

３　各校の調査分析・学力向上の取組み

各校の調査分析、今後の取り組みについては、各校のホームページで公開しておりますのでご覧ください。

保護者・地域の皆様へ

児童・生徒の学習環境や生活環境づくりについて、家庭や地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

１　お子さんへの声かけについて

・ お子さんの良さを見取り、積極的にほめたり励ましたりすることをお願いいたします。学校での出来事や学習について１日１回は、子どもたちへ問いかけてください。

２　SNS 等について

・ 平日に、1 日あたりどのくらいの時間、スマホやパソコン、タブレット、ゲーム等で SNS や動画視聴をしますかという質問に対して、3 時間以上と答えた小学生が 41.7%、中学生が 43.1％となっています。SNS 等に触れる時間を自分で調整できるよう各家庭で話し合い、計画を立てたり、ふり返ったりすることをお願いいたします。

３　家庭学習の習慣化について

・ 家庭学習の時間を自分で調整できるよう話し合い、計画を立てたりふり返ったりしてください。

・ PTA、校長会、市教委連名で各家庭へ配布しました「家庭での過ごし方」や「各校の家庭学習の手引き」等をもとに、自分で計画的に取り組むことができるようお願いいたします。